

思川だより

令和7年7月22日 第92号

所長あいさつ

この度、4月1日付けて、渡良瀬川ダム総合管理所長として着任しました一ノ瀬でございます。着任にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。皆様方には、日頃より思川開発事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



当事業は、思川支川の南摩川に南摩ダムを建設して南摩川、思川、利根川の洪水被害を軽減し、また、南摩ダムと黒川、大芦川を導水路で連絡して河川間での水融通を行うことで、南摩川、黒川、大芦川等の既得取水の安定化と河川環境の保全を行うとともに、新たな水道用水を確保するものです。

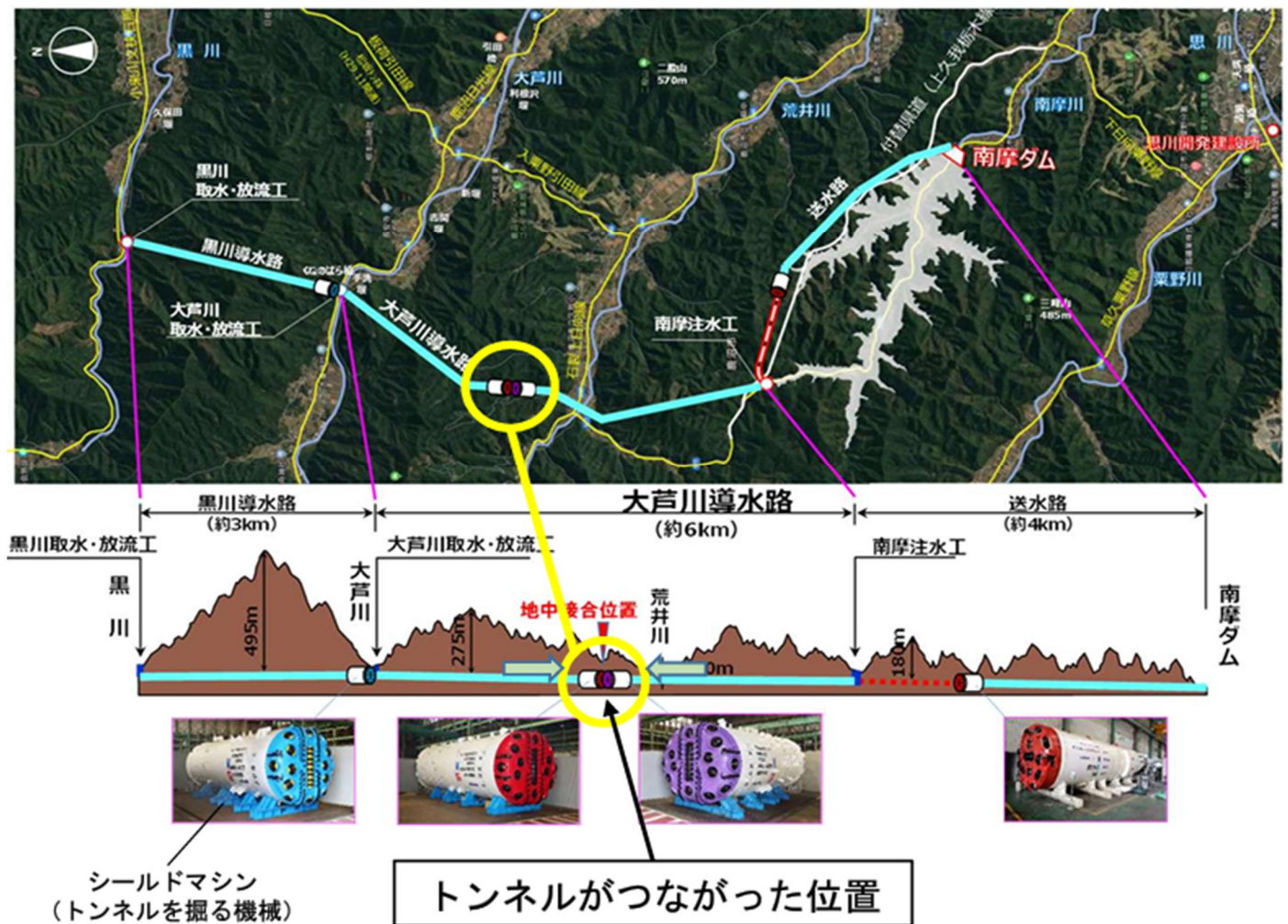
事業の実施にあたり、永年にわたり住み慣れた故郷からのご移転、また大切な土地をお譲りいただいた皆様、ならびに地域の皆様には格別のご理解・ご協力を賜りましたことに改めまして厚く御礼申し上げます。

現在、当事業におきましては、南摩ダム、導水路、送水路、付替林道、管理設備等の工事を進めているところです。南摩ダム本体工事につきましては、昨年11月8日から試験湛水を開始し、水を貯めだしているところです。

一方で、大芦川と黒川、南摩ダムを結ぶ導水路工事につきましては、シールド工法によるトンネルの掘進が今年の5月20日に完了、全長9キロが繋がったところです。現在、トンネル内の仕上げの工事や大芦川、黒川の取水・放流工の構築を行っています。また、送水路工事は、TBM（トンネルボーリングマシン）工法によりトンネルの掘進を進めているところです。

周辺地域にお住まいの皆様には、工事に伴い、ご不便、ご迷惑をおかけしております。今後とも周辺の環境に配慮しつつ、地元関係者の皆様、及び栃木県、鹿沼市などの関係機関の皆様の協力を得て当事業を進め、令和8年度概成に向け、職員一同、一丸となって、皆様のご期待にお応えできるよう取り組んでまいりますので、引き続き、当事業へのご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

大芦川導水路トンネルがつながりました！（5/20）



大芦川導水路トンネル（大芦川取水・放流工から南摩注水工区間）が、令和7年5月20日につながりました。大芦川取水・放流工側からの掘進は令和3年10月18日から、南摩注水工側からの掘進は令和4年4月18日から開始し、苦難を乗り越え、何とか貫通しました。

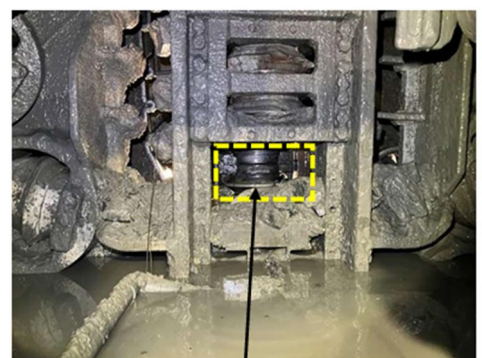
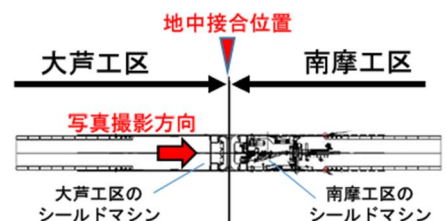
トンネル掘進は、地中深くのシールドマシンでの工事であったため、地域住民の皆様には、見える形での工事の進み具合をお知らせすることは出来ませんでした。トンネルの掘削土の搬出、トンネルの資機材の搬入など長きにわたりご理解とご協力頂きありがとうございます。

また、工事を始める前より、ご心配をおかけしておりました、地下水・沢水の利用については、影響を与えることなく、無事に貫通できました。

これで黒川導水路トンネル（黒川から大芦川区間）とあわせて導水路トンネルは全線貫通し、現在、地中接合部内面覆工（コンクリートで覆う工事）を行っております。

一方、送水路（南摩ダム下流から南摩ダム貯水池上流）は、残り約800m地点まで掘り進んでおります。

引き続き、通水開始まで気を抜くことなく、安全に作業進めて参ります。



大芦工区側から確認した南摩工区のシールドマシン

南摩ダムが令和6年度土木学会技術賞を受賞！タイムラプス公開中

南摩ダムは国内で初めて大規模ダムにコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダム（CFRD）を採用しており、設計、施工、品質の課題を解決した技術が高く評価されました。

南摩ダムの工事風景とその後の試験湛水の様子を定点カメラで記録したタイムラプス動画、「南摩ダムができるまで」をYouTubeで公開しました！ダム本体の盛り立ての様子はもちろん、南摩ダムの特徴であるフェイススラブのコンクリート打設もカメラで捉えており、とても貴重な動画になっています。気になる方は水資源機構 YouTube か、思川開発建設所 X（旧 Twitter）からご覧ください。

南摩ダムができるまで



南摩ダム

表面遮水壁の施工



スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパ開業1周年祭イベントに参加しました



4月12日、上南摩町にある「スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパ」が、開業から1年が経ち、これを記念したイベントが催され、水資源機構から5名の職員が参加しました。

この施設は、南摩ダム建設に伴う水源地域整備計画に基づく事業として、鹿沼市が事業主体として整備した施設です。

当日は、南摩ダム本体建設工事や付替道路工事等で伐採した立木の枝などを粉碎したチップ材の無料配布を行いました。200袋用意したチップ材も午前中で配布を終えてしまうほどの人気でした。

また、当日限定のオリジナル缶バッチの配布も行い、親子連れの皆様に好評でした。

こちらも用意した200個全て配布を終えてしまうほどでした。

天候にも恵まれ、イベント当日は、地元の方をはじめ、キャンプ場利用の方など多くの来場者で賑わっていました。



花と緑のフェスタ 2025 でチップ材を配布しました。(環境情報)

4月26日、鹿沼市花木センター公社主催によるイベント「花と緑のフェスタ 2025」が鹿沼市花木センターで開催され、4月12日のイベントに続いて、チップ材の配布を行いました。草おさえなどの再利用の方法を紹介し、用意した全てのチップ材の配布が完了し大好評でした。

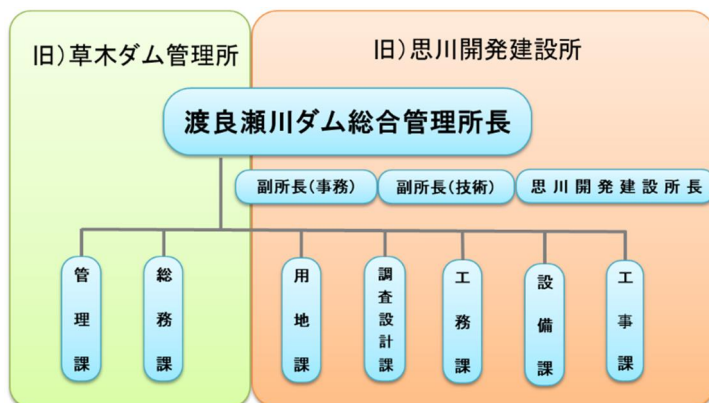


水資源機構の組織が再編されました～渡良瀬川ダム総合管理所へ～

令和7年4月より、現場組織の再編（大括り化）を行い、思川開発建設所は草木ダム管理所と合わせて「渡良瀬川ダム総合管理所」となりました。

渡良瀬川ダム総合管理所（群馬県みどり市東町座間 564-6）をよろしくお願いいたします。

渡良瀬川流域の2つの事業所が一つになりました



人事異動のお知らせ（管理職）

	転入	転出
渡良瀬川ダム総合管理所長	一ノ瀬 泰彦（池田総合管理所より）	
副所長	丹羽 賢一（関西・吉野川支社より）	
思川開発建設所長	竹内 祐治（前 副所長）	長谷見 智久（指導役へ）
総務課長	菊地 滋男（利根導水総合管理所より）	長谷川 功（利根導水総合管理所へ）
工事課長	枘内 暁史（池田総合管理所より）	大嶋 潤（吉野川上流総合管理所へ）
調査設計課長	木口 喬介（長良川河口堰管理所より）	坂本信也（吉野川下流総合管理所へ）
設備課長（旧機械課長）	今村 利博（朝倉ダム総合事業所より）	黒田浩一（筑後川上流総合管理所へ）

編集後記

○現在、休日限定（9時～17時）で管理棟の一部を駐車場として限定開放しております。ダムの状況をぜひご覧ください！

○思川だよりは今年から年2回発行となりました。次号の思川だよりは、令和8年1月に発行いたします。

編集・発行



独立行政法人水資源機構 渡良瀬川ダム総合管理所
〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 564-6
TEL (0277) 97-2131 FAX (0277) 97-3300
<https://www.water.go.jp/kanto/watarase/index.html>

渡良瀬川ダム

検索



HP



X

(旧 Twitter)